



## おらが地域の未来を 描く！！【小学校の国語と総合学習】

文部科学省は、“小学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編”の「内容の取扱いについての配慮事項」で、地域のもつ教育力を活用することでもたらす教育的効果を3つ挙げています。

- ① 学習やその成果を保護者も含めた地域の人々に公開することにより、児童が社会の一員であることを自覚したり、児童の学習意欲が向上したりする。
- ② 地域の人々と親密になったり、地域の自然や文化財等に関心をもったり、地域の伝統行事等に参加したりするようになり、児童が地域への愛着を高め、豊かな生活を送ることにつながる。
- ③ 郷土を創る次世代の人材育成や持続可能な地域社会の形成にもつながる。

本号では、6年生の国語「町の幸福論」と総合学習「町の未来を考えよう」を融合させ、地域の教育力(人材)を引き出しながら、子供を主役にした授業を実践している玖珂小学校を紹介します。

### ① 学級担任の思いから 授業を計画 → ② 国語の学習がスタート → ③ 地域の方が思いを伝える

自分たちの町のことを自分事として考えることは大切だ。学年全体で取り組もう！

鏡野 教諭



私も三年ぶり開催の「土曜夜市」の手伝いをした。子供の笑顔と地域の方の汗が輝いていた。

珠山 教諭

堀田 教諭

地域連携の担当となって、「くらかけネットの会」に参加し、町や子供たちへの地域の方の熱い思いを、初めて知った。生の声を直接聴いて「地域の方の協力があるからこそ、学校は成り立っている」ということを実感した。

子供たちに、自分たちがどれだけ地域の方に支えられているか、どれだけありがたいことかを知ってもらいたいと思い、授業の計画を立てた。

私自身も地元を離れた仕事しているが、地元が好きである。帰ると安心感に包まれる。何年たっても、この玖珂町を離れたとしても、玖珂町を愛し、ふるさとに誇りをもってほしい。



宮本 PTA 会長の話  
(土曜夜市<夏祭り>実行委員長)  
・土曜夜市の歴史  
・住民(子供)に喜んでもらうため  
・多くの住民がお世話していること

### ④ 子供と大人で 玖珂の未来を語る

#### → ⑤ (3学期 総合学習) 玖珂町のためにできることを考え実践する

#### → ※ (玖珂中学校) 玖珂町でのボランティア → 玖珂町を散策 → 玖珂町 PR「ふるさと CM」作成

話し合った内容を今後の玖珂町に取り入れ、生かしたいな。



地域の方は詳しく聞いてくれたので、内容が深くなり、すごく意味ある1時間だった。

宮本さんが、引き継いだ土曜夜市は50年も続いているのか。ボランティアしたいな。

地域の方は、子供とは考えが違って、いろいろなことを考えているんだな。

※ 地域住民の熱い思いが教師の心を動かし、教師の前向きさに住民が呼応し、住民のふるさと愛が子供の自発的・自主的な活動を誘発し、中学校における活動にまでつながる主体的な学びとなっている。